

①広島医療生活協同組合主催の理事・支部長研修会に参加しました。

7月23日、安佐南区民センターに於いて開催された 2014年 理事・支部長研修会に出席要を受けて出席し、毘沙門台団地の取組みについて発表しました。研修会には理事・支部長はじめ事務局の52名が参加され、私も熱のこもった研修会の体験をしました。

事例発表の終了後に開催された「グループ討議」では、各支部の活動状況や今後の計画についての討議を直接お聞きし、医療生協における地域課題、組織の課題などを勉強できました。



今後、介護保険改正(27/4月)や、地域包括システムへの移行など毘沙門台住民としても好むと好まざるにかかわらず大きな影響が予測されており、安佐南区の中核病院として広島共立病院へ期待と共に、地域医療連携室や介護予防分野の連携を深め、毘沙門台住民の安心を高めたいと思います。



(社協事務局 林 裕)

②尾道市社協の皆さんが来所され意見交換を実施しました。

7月29日(火)、尾道市社協6団体23名の皆さんがバスで来場され、10時30分から学区集会所において意見交換会が開催されました。



参加された役員構成は、地区社協関係者7名、地区民生委員長3名、町内会自治会長4名、福祉サロン担当者3名、介護施設長2名、公民館長1



名と尾道市社協3名の23名で、

毘沙門台社協から、木村会長、事務局長、のほか民児協 牧原会長、宇佐見副会長、江原副会長、和木坂高齢福祉担当の4名と、速山事務局次長、土井淑子(前)福祉推進委員、の7名で対応した。

木村会長の挨拶、清川尾道市社協副会長の挨拶のあと、ホームテレビ報道番組の紹介で取組み概要を理解頂いた後に、社協の具体的な取組み「地域住民のつながりが豊かな街を目指す」と「小地域ネットワークの現状と課題」を牧原副会長が行い、参加者からの質疑応答を含め有意義な意見交換が出来たように思います。



(学区社協 林 裕)